

●接着歯科学講座 Department of Adhesive Dentistry

1. 所属構成員等

教 授 奈良陽一郎

准 教 授 柵木寿男

助 教 前野雅彦

臨床研究生 林 孝太郎

非常勤講師 杉山征三, 貴美島 哲, 吉村英則, 中村昇司, 長倉弥生, 江黒 徹, 原 学, 山田 正, 丸山沙絵子, 森 のり子, 三宅詔子

大学院生 越田清祐, 河本 芽, 鵜田智重, 岡田美里, 中澤美和

2. 研究テーマ

- 1) 次世代低侵襲性接着修復法の確立に向けた基礎的臨床的評価検討 Basic and clinical examination for the establishment of next generation MI restoration.
- 2) 革新的デジタルレストレーションシステムの構築を見据えた総合的評価検討 Comprehensive investigation of the innovative digital restoration system.
- 3) メタルフリー接着修復による高品位審美性の具現化 Realization of the high-definition aesthetic treatment with metal-free adhesive restoration.
- 4) 審美的修復材料のin vivo / in vitro接着評価 In vivo / in vitro bonding examination of aesthetic restorative materials.
- 5) 口腔内環境想定複合ストレス条件下における接着挙動の究明 Investigation of bonding behaviors under combination stress simulating intra-oral environment.
- 6) 新規修復用器材の開発と評価検討 Development and investigation of new restorative materials.
- 7) 非破壊接着評価法の探究 Investigation of non-destructive evaluation.
- 8) 非回転切削法による新規修復法の考究 Development of new restorative technique without rotating preparation.
- 9) 歯質との親和・一体化を図ったバイオアドヒージョンの創生 Revitalization of bio-adhesion for the affinity of tooth substance.

3. 今年度の研究上の特筆すべき事項

受賞

記載事項なし

特許

- 1) 出願人: 学校法人日本歯科大学と株式会社ジーシー, 発明者: 奈良陽一郎, 松本尚史, 2019年7月5日, 特許第6549947号, 三次元形状データ作成方法、歯科補綴物の作製方法、歯科補綴物作製用組成物

4. 学位取得者

- 1) 越田清祐: 修復法と接着性レジンセメントの違いがCAD/CAMセラミック修復の接着に及ぼす影響 Effect of differences in the type of restoration and adhesive resin cement system on the bonding of CAD/CAM ceramic restorations, 2020年2月22日, 日本歯科大学, 博士(歯学)。

5. 主催学会等

- 1) 日本歯科保存学会2019年度春季学術大会, 金沢市, 2019年6月27~28日, 大会長: 奈良陽一郎, 準備委員長: 柵木寿男。

6. 国際交流状況

- 1) 共同研究: 奈良陽一郎, 柵木寿男, 前野雅彦, 林 孝太郎, 越田清祐, 河本 芽, 鵜田智重, 岡田美里, 中澤美和, 河合貴俊とハーバード大学歯学部I. L. Dogon教授およびS. Nagai准教授(アメリカ合衆国)との共同研究, 「次世代修復に関する基礎的臨床的研究」, 1985年より継続中。

- 2) Dental Consultant in Dental Education for Project HOPE委任：奈良陽一郎，Dental Education for Project HOPE（アメリカ合衆国，米国保健政策機関Project HOPE）としての委任，2000年より継続中。

7. 外部・学内研究費

- 1) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），基盤研究（C），（継続），2017～2019年度，デジタルおよびアナログ方式によるメタルフリー歯冠修復に対する質的・量的接着評価，奈良陽一郎（代表），柵木寿男，前野雅彦，河合貴俊，新田俊彦，山瀬 勝（分担），4,550,000円，2019年度，1,430,000円
- 2) 科学研究費助成事業（科学研究費補助金），若手研究，（新規），2019～2021年度，接着タンパク質とカラーゲン自己生成ペプチドを用いた歯一歯肉間接着技術の確立，前野雅彦（代表），4,160,000円，2019年度，1,560,000円
- 3) デンツプライシロナ株式会社委託研究費，（新規），2019年11月1日～2020年10月31日，・デンツプライシロナ社製「Core X Flow」を含む大臼歯根管治療におけるコアシステムの接着評価
・同社製「Neo Spectra ST」を含むフロアブルコンポジットレジン（注）の圧縮強さおよび曲げ強度評価，奈良陽一郎（代表），柵木寿男，前野雅彦，林 孝太郎，越田清祐，河本 芽，鵜田智重，岡田美里，中澤美和（分担），800,000円，2019年度，800,000円
- 4) スリーエムジャパン株式会社委託研究費，（新規），2019年11月1日～2020年6月30日，スリーエム新規歯科用接着材の接着評価，奈良陽一郎（代表），柵木寿男，前野雅彦，林 孝太郎，越田清祐，河本 芽，鵜田智重，岡田美里，中澤美和，河合貴俊，山瀬 勝（分担），1,000,000円，2019年度，1,000,000円
- 5) クラレノリタケデンタル株式会社委託研究費，（新規），2019年1月1日～2020年12月31日，試作品の評価およびボンディング，CR，セメント分野における製品の評価，奈良陽一郎（代表），柵木寿男，前野雅彦，林 孝太郎，越田清祐，河本 芽，鵜田智重，岡田美里，中澤美和，河合貴俊，新田俊彦（分担），1,000,000円，2019年度，1,000,000円

8. 研究業績

A. 著書

1. 奈良陽一郎（共著・編集）：学会，183-184，藤澤政紀，奈良陽一郎，新海航一，大槻昌幸，歯科審美学，1版，永末書店，京都，2019，ISBN 978-4-8160-1369-0.
2. 1) 奈良陽一郎（分担執筆）：コンポジットレジン修復の適応，コンポジットレジン修復の手順，160-170，千田 彰，宮崎真至，林 美加子，向井義晴，斎藤隆史，保存修復学，7版，医歯薬出版株式会社，東京，2019，ISBN 978-4-263-45841-9.
2) 柵木寿男（分担執筆）：コンポジットレジン修復の特徴，コンポジットレジン（注）の組成，コンポジットレジン（注）の種類，光重合型コンポジットレジン修復の特徴，147-160，千田 彰，宮崎真至，林 美加子，向井義晴，斎藤隆史，保存修復学，7版，医歯薬出版株式会社，東京，2019，ISBN 978-4-263-45841-9.
3. 1) 奈良陽一郎（共著・監修）：窩洞，コンポジットレジン修復の臨床的特徴，コンポジットレジン修復窩洞の特徴，コンポジットレジン修復の手順，修復に役立つ器材，コンポジットレジンインレー修復，合着・接着・歯髄保護に用いるセメント，52，95，99，101，106，130，146-59，99，100，105，109，133，153，奈良陽一郎，柵木寿男，歯科国試パーフェクトマスター保存修復学，1版，医歯薬出版株式会社，京都，2019，ISBN 978-4-263-45809-9.
2) 柵木寿男（共著・監修）：歯の構造と加齢による変化，齲蝕の病因と病態，齲蝕の予防・管理，消毒・滅菌と感染対策，齲蝕の治療，非齲蝕性硬組織疾患の治療，直接・間接修復の接着，1，13，18，22，32，36，86-6，17，21，25，35，46，95，奈良陽一郎，柵木寿男，歯科国試パーフェクトマスター保存修復学，1版，医歯薬出版株式会社，京都，2019，ISBN 978-4-263-45809-9.
3) 前野雅彦（共著），歯科国試パーフェクトマスター保存修復学，1版，医歯薬出版株式会社，京都，2019，ISBN 978-4-263-45809-9.

4. 奈良陽一郎（共著・監修）：コンポジットレジニンレー修復の概要，コンポジットレジニンレー窩洞の特徴と適応症，セラミックインレーの製作手順と特徴，セラミックインレーの試適・接着・咬合調整・仕上げ研磨，問題点・留意点，219，239-234，245，田上順次，奈良陽一郎，山本一世，斎藤隆史，保存修復学21，5版，永末書店，京都，2019，ISBN 978-4-8160-1321-8.
5. 柵木寿男（分担執筆）：セラミックインレー修復の概要と特徴，材料，適応症と禁忌症，セラミックインレー窩洞の特徴，235-283，田上順次，奈良陽一郎，山本一世，斎藤隆史，歯科審美学，5版，永末書店，京都，2019，ISBN 978-4-8160-1321-8.
6. 柵木寿男，前野雅彦（分担執筆）：第2章 修復 Question 18 「破損したセラミックインレーの補修修復について教えてください」，92-95，藤澤政紀，新海航一，渡辺隆史，デンタルダイヤモンド 増刊 患者満足度を高める審美歯科のQ&A 32，1版，デンタルダイヤモンド社，東京，2019，ISBN 978-4-8851-0445-9.

B. 原著

- 1) Miura S, Fujisawa M, Komine F, Maseki T, Ogawa T, Takebe J, Nara Y (7th) (7 authors): Importance of interim restorations in the molar region., ☆◎J Oral Sci, 2019; 61: 195-199, doi: 10.2334/josnurd.19-0102.
- 2) Koshida S, *Maeno M, Nara Y: Effect of differences in the type of restoration and adhesive resin cement system on the bonding of CAD/CAM ceramic restorations, ☆◎Dent Mater J. (学位論文)

C. 総説・解説

記載事項なし

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

- 1) 奈良陽一郎，池田利恵：歯科衛生士のリサーチマインド - 歯科衛生士養成教育におけるリサーチマインドの現状と意義 -. 日本歯科衛生学会雑誌，2019；14(1)：25-119.
- 2) 柵木寿男，前野雅彦：海外ジャーナル Watching 電子レンジと歯ブラシの関係. デンタルダイヤモンド，2019；44(7)：107-107.
- 3) 柵木寿男，山瀬 勝：海外ジャーナル Watching マイクロプラスチック問題は対岸の火事か？ いまそこにある危機か？. デンタルダイヤモンド，2019；44(15)：103-103.
- 4) 柵木寿男：編集後記. 接着歯学，2019；37(4)：204-204.
- 5) 柵木寿男：編集後記. 日本歯科理工学会雑誌，2020；39(1)：114-114.

E. 翻訳

特記事項なし

F. 学術大会発表

- 1) Maeno M, Kawai T, Murata T, Okada M, Nagai S, Nara Y. Bonding Characteristic of Recent Adhesive Systems Used for Repair Restoration. J Dent Res 98 (Spec Iss-A) , 2019; <https://iadr.abstractarchives.com/abstract/19iags-3179621/bonding-characteristic-of-recent-adhesive-systems-used-for-repair-restoration> (参照2020年5月11日) .
- 2) Nara Y, Okada M, Maeno M, Kawai T, Murata T, Dogon IL. Bonding Performance of Recent All-in-one Adhesive Systems to Cervical Tooth-substance. J Dent Res 98 (Spec Iss-A) , 2019; <https://iadr.abstractarchives.com/abstract/19iags-3182014/bonding-performance-of-recent-all-in-one-adhesive-systems-to-cervical-tooth-substance> (参照2020年5月11日) .

- 3) 中村昇司, 前野雅彦, 村田卓也, 越田清祐, 河本 芽, 鵜田智重, 岡田美里, 柵木寿男, 奈良陽一郎. レジンコーティング活用によるメタルフリーCAD/CAM 修復. 2018年度日本歯科保存学会春季学術大会 (第150回) プログラムおよび講演抄録集, 2019; 45.
http://www.hozon.or.jp/member/publication/abstract/abstract_150.html (参照2020年5月11日).
- 4) 河本 芽, 新田俊彦, 長倉弥生, 柵木寿男, 奈良陽一郎. シラン処理面への追加処理がメタルフリーCAD/CAM修復の接着に与える効果. 第38回日本接着歯学会学術大会講演集, 2019; 37. http://www.adhesive-dent.com/meeting/file/meet_38_abstract.pdf (参照2020年4月8日).
- 5) 鵜田智重, 前野雅彦, 小川信太郎, 杉山征三, 奈良陽一郎. セメントスペース設定とブロック材質の違いがメタルフリーCAD/CAMアンレー修復の接着に及ぼす影響. 第38回日本接着歯学会学術大会講演集, 2019; 37. http://www.adhesive-dent.com/meeting/file/meet_38_abstract.pdf (参照2020年4月7日).
- 6) 岡田美里, 中澤美和, 河本 芽, 鵜田智重, 前野雅彦, 森 のり子, 小川信太郎, 奈良陽一郎. 最近のセルフエッチングシステムによる歯頸部罹患象牙質に対する接着. 2019年度日本歯科保存学会秋季学術大会 (第151回) プログラムおよび講演抄録集, 2019; 49. http://www.hozon.or.jp/member/publication/abstract/abstract_151.html (参照2020年5月11日).
- 7) 中澤美和, 村田卓也, 林 孝太郎, 鵜田智重, 河本 芽, 岡田美里, 前野雅彦, 柵木寿男, 奈良陽一郎. 新規セルフアドヒーズブレジンセメントの各種CAD/CAM用メタルフリー修復材料に対する接着性能. 2019年度日本歯科保存学会秋季学術大会 (第151回) プログラムおよび講演抄録集, 2019; 84.
http://www.hozon.or.jp/member/publication/abstract/abstract_151.html (参照2020年5月27日).
- 8) Maseki T, Murata T, Hayashi K, Tokita C, Komoto M, Okada M, Maeno M, Nara Y. Bonding performance of new self-adhesive resin-cement to metal-free CAD/CAM blocks. iadr-apr2019.com/program-2/, (4th Meeting of International Association for Dental Research Asia Pacific Region 2019), 2019;
<https://iadr-apr2019.com/cms/wp-content/uploads/IADR-APR-2019-Posters-Allocation-v7.pdf> (参照2020年5月2日).
- 9) 前野雅彦, 林 孝太郎, 村田卓也, 河合貴俊, 中村昇司, 長倉弥生, 柵木寿男, 奈良陽一郎. レジンコーティング法活用の信頼性に優れた審美性 CAD/CAM 修復. 日本歯科審美学会第30回学術大会講演事後抄録, 2019; 200.
https://jdshinbi.net/pro/pdf/30th_jigo_20200317.pdf (参照2020年5月11日).

G. 講演

1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

2) 講演会・研究会・研修会等での講演

- 1) 奈良陽一郎: いま求められるメタルフリー接着修復の勘所ーコンポジットレジン直接修復からCAD/CAM冠修復までー, 石川県日本歯科大学校友会学術講演会, 金沢 (2019年10月20日).
- 2) 柵木寿男: 歯のホワイトニング 実践編, 第49回日本歯科審美学会ホワイトニングコーディネーター講習会, 大阪 (2019年10月20日).
- 3) 柵木寿男: 歯のホワイトニング 基礎編, 第50回日本歯科審美学会ホワイトニングコーディネーター講習会, 福岡 (2020年1月12日).

H. その他の出版物

記載事項なし